

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小湊 由香里
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3380
<b>事務事業名</b>	7725 地域医療福祉ネットワーク推進事業						
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課						
<b>施 策</b>	01010200 医療体制の整備						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費					
	<b>事業</b>	040000 地域医療福祉ネットワーク推進事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指し、地域医療福祉のネットワーク構築を推進する。				須高地域医療福祉推進協議会に専門委員会を設置し、感染症及び大規模災害時の医療体制整備、医師・看護師不足、在宅医療福祉などの課題について取り組む。感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供によりインフルエンザ等の感染症の拡大防止に繋げる。情報共有システム（在宅医療安心ネット）の導入により在宅医療の24時間サポート体制（須高在宅ネットワーク）を提供する。			

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供</li> <li>・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（須高在宅ネットワーク体制構築、在宅医療安心ネット導入、リビングウィル作成、在宅療養者への発電機貸出し等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供</li> <li>・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（須高在宅ネットワークの運用、住民への普及啓発、支援者のスキルアップ研修会の実施等）</li> </ul>
平成26年度 実績	平成27年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供</li> <li>・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（須高在宅ネットワークの運用、住民への普及啓発、支援者のスキルアップ研修会の実施等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供</li> <li>・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って事業を整理し継続実施する。）</li> </ul>

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		3,062	5,440
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,964	5,324
	地方債	0	0
	その他	15	31
一般財源		83	85
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	1.8	1.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	6,858.0
	嘱託職員	4,905.0	4,905.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,763.0	11,763.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,825.0	17,203.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	272	各種研修会等講師謝礼
11節 需用費	324	研修会資料作成用消耗品、自動車燃料費、看取りのパンフレット増刷等
13節 委託費	707	須高地域医療情報ネットワークシステム業務委託 リレートークDVD作成委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,759	旅費、役務費、使用料及び賃借料

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	650	各種研修会等講師謝礼 等
11節 需用費	864	研修会資料作成用消耗品、自動車燃料費、集いポスター・チラシ印刷、「須高地域で安心して医療・介護・福祉が受けられるために」改訂等
13節 委託費	1,830	須高地域医療情報ネットワークシステム業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,096	旅費、役務費、使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	須高地域で広域的に取り組むべき課題について事業実施。 在宅医療福祉の取組については、国より在宅医療・介護連携推進事業8項目が具体的に示され、平成30年4月までには全ての市町村で実施することとされた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	三市町村共通の課題で、広域的に取り組んだほうがよい事柄について事業実施している。 今後の超高齢化、多死社会を見据え、在宅療養、在宅看取りの体制整備や住民に文化を広げることは有効。 長期的視野で進めていくべき。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	在宅医療連携拠点事業に関しては、平成24年度は国、平成25～27年度までは県の補助金を活用して事業実施。 補助金活用以外の感染症対策等については、3市町村で負担し合っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

感染症早期探知システムにより集積している感染症情報について、より有効な感染予防・拡大防止に向けた情報提供をする。  
 在宅療養24時間サポート体制について、医師会等関係機関と連携し、登録者拡大と活用促進に向け運用の充実に取り組む。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>須高3市町村の取り組みであり、医療、保健、福祉、介護のネットワークを進めることで、地域包括ケア体制を構築する。事業、予算については、3市町村の負担と、県補助金をあてている。</p>		<p>須高地域の医療・保健・福祉・介護のネットワーク体制構築により、住民生活の利便性が向上している。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	